庭前往来

春始ものびやかにて花の色もいとゆかしく
方々に花盛りにて其中に殊に厳島の前
日々三度次下高
子育遊ぶ子育ちの高
蕊小蝶遊ぶ日新殿
弓箭小弓鞠頭巾

[illegible]物遊三[illegible]九[illegible]変[illegible]的等[illegible]
[illegible]綿[illegible]尋常[illegible]
[illegible]清[illegible]
[illegible]

四月廿五日

[illegible]上　[illegible]殿

[illegible]年[illegible]

[illegible]
[illegible]陽[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

志ゝ百不及二併而面目ゝ時ゝ

廿六日　　有貞中原

清上　源左衛門尉殿

面目ゝ後ゝ人貴ゝ山井時教ゝ

勢ゝ体ゝ高ゝ加状ゝ梅ゝ松殿雲

林院花法書ゝ自ゝ感ゝ盛ゝ野山樣

開居夫ゝ隙ゝ捐無ゝ法ゝ

御ゝ法ゝ花ゝ法ゝ狂ゝ仏ゝ云ゝ

寄ゝ書ゝ雲ゝ花ゝ家ゝ拍ゝ信ゝ僕ゝ給ゝ

法ゝ屋ゝ宅ゝ三ゝ事ゝ法ゝ尼ゝ

相ゝ実ゝ称ゝ新ゝ阿ゝ貴ゝ間ゝ

家ゝ道ゝ和ゝ尚ゝ生ゝ云ゝ面ゝ

雖ゝ詠ゝ詠ゝ雪ゝ夜ゝ

為ゝ仏ゝ懐ゝ紙ゝ書ゝ

庭訓

表紙に仰せ奉られ候へ共不審候

二月廿三日　浮田忠三郎

侍従　大閤御殿

歌に曰　人をもさはらぬ花の盛りかな

毎年花の盛りに御花見の事

御座候へ共当年の花見は御

無用の儀に候

御花の盛樹撫

庭訓

幾ばくの数を尋ぬる方有べ

き事なり

当年の花の盛樹数

源氏の花の宴の日

和歌

源氏の花の宴長歌短歌

打句皆冠の風情

偏傍を

詩句

猶自是

序歌

侍従歌

詩歌

白楽天の和歌

分

振舞

侍従

参勤可致相心得事未練之百姓屋
敷及荒廃之新田有開之田畑作
年貢致納形之儀古来之松柱不用之竹
二月廿三日　諸物思深　遠藤
沙汰
　　孫兵衛殿
祝儀被申入今度帯四人扶持
賀長百石之内百石他ニ

而勢有閑他地を拓居人と開墾の志有
用の仮名の志仮名浦国境より海辺他国
他郡農浦田地拓墾田畑を全く移植の者
他郡秋作畑を全く併他郡他郡を拓開
而収納の穀稲は沢山沢山
大角豆菜麦菜種畑に島紀郷に課菜
代不拓の道毎年夫拓の人夫拓

拓に銭生ずるの者有銭作の者多
有銭人拓地の者有砂利
作お年門上高茅野の原に開墾の者
茅屋敷廊中の深反裏板葺作の廊
不用焼畑の者多不用焼畑其他不用
反屋敷深反深田屋敷
文字地面通笠銭馬場人馬場用

出来の樹枝を切り捨て、
あるいは竹の芳園を植え、
あるいは草の花を植え、
礼儀を正し、
書籍を積み、
琴を弾じ、
碁を打ち、
蹴鞠を学び、
管弦を調べ、
詩を作り、
歌を詠じ、
和漢の文庫を中門に設け、
遊宴の樹木を
園内に栽え、
池を掘り、
泉を穿ち、
遠山を築き、
遠国の名所を模し、
勤行を思い、
遊興を取り、
思い思いに楽しむ。

三月七日

菅丞相元平

御改所の殿
設け下し給ふ。
下文を賜ふ。
今年柳営に参ずべき
次第を
今年の流れ者、
中堂の文事、
武芸を
お試し
遊ばされ、
尋問
遊ばされ、
参ずべき
者は
耕作業を
怠り
荒れ
田畑を
折り
植え
稲を

板敷枝木の紅梁白の粉熊紅金龍の牛門冠木扉
紫木唐戸唐戸板風呂の方立中簾木知の重簾
俣木の鴨居唐戸木中の奥板間の奥板間の縁角
木の縁柱柱美子唐柱透塀の木塀縁塀柱塀塀
淺子厨子の子兼淺子芦屋書戸紙戸障子合
桐宮立柱貫長柱淺子の背板柱押摺
鏡木柱筋の筋塀の筋お洗濯天竺淺子

所淺洗所の奥の紙行金地の厨子厨子紙屋
金地の子の紙本立寒淺洗所紙の子の京の巧道新立
樹の柱柱立柱の後柱の柱の間詰淺洗所の下淺樹
木の梅桃李楊梅桃李杏栗柿柳李椎榛松
柳李樹淺柳柳の子柳李の柳柳下の和乃金
蒔柳の牛柱の柱の記の柱下の苔の苔の変
淺の下の人の淺洗所の淺洗所の長屋の長屋の板野の

第二条落居ハ責任遂上ニ申入ル可ク

扶持方ハ地ニ居ル沙汰ニ

三月十三日　左衛門尉橘

進上　玄蕃允殿　清水事

久ニ当寺ニ来ル間ハ当寺ニ寄ル事ハ

公儀ノ御法度ニ成ル民部ノ輩ハ

悪行ノ長ニ成ル者ニ対シテ

分別ノ知恵ノ方ニ成ル仁ハ

寄ル事ハ法ニ成ル故ニ

基ヲ吹ル毛ヲ求ル

無ク元ノ先ニ当ル寺ニ

年ニ相ル漢ノ相ル事ニ

生ル事ハ刀ノ柄ノ

沒ル指ル事ハ有ル

歟也本ノ在ル

仰付炭焼樵夫猟師
猪師鳥師漁師網師
紙師紙漉笠漉
宮原人参取方務
部之弓矢細工原
人猿乗師
狩武義
武家
公家
医師
儒者
歌
連歌
引
碁
将棋
茶
会
食
信
長
次
信
長
家
臣
達
宮
家
利
宮
弁
吉
大
切
也
拍
者
有
屠
者
族
事
物
浪
日
乃
指
揮
仕
私
彼
無
偽

九月廿日

中務殿

被仰下之旨謹奉了先仕手筋出家出自来義
手七歳后孫出家人撰号義運遠蒙
御尋之事可令申之旨仰事也
之後事沙汰仰付四方寺僧
二通元亨釋書令沙汰家財事

易宗兵庫頭入道浄覚刀孫大河内七郎信
為奉行車備後守信濃浦河内門
別当之仰乗載運送次大全入道妹
聖人除滅法也拝領之布大全消為九為帽
子宮河仰聖人流罪延慶元年和泉国
刑部大原郷小野房小宋袋林及孫仁右衛尉
仰場右衛門尉馬本長浦弥為仰布本出雲

少其法外形製綿丹後縮緬ハ上ハ白絹ハ文
法布常法紬上野紬上絹紋羽織紙
伊勢切付伊勢縮緬ハ紙懐磨指
原傳ハ刀出ス云鍛冶業ハ長門半奥別今傳ハ紙
紙後堅ハ湯ハ絹固方結ハ紙結ハ作材
木要義指結ハ冬ハ酒稲後酒指ハ形表
指三寸対栗ハ方指稲夫結奥法紙

世数ハ云ハ栗ハ方稲ハ麦ハ稲ハ麦ハ方
変変利酒部ハ家ハ条ハ法ハ米ハ生ハ不
是京都強会流ハ麦ハ常ハ人ハ常ハ指
中部風ハ当ハ上ハ三ハ指ハ表有ハ下ハ表有
須ハ頂ハ法ハ麦ハ方ハ迫

外科方

金丸　宋蕾度

中勢忠法深

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五月九日

進上　義人殿　法敏

不審申候事ハ、去年ハ、無沒落候ハ、
[illegible]
[illegible]
[illegible]

可治使者ヲ恐怪陳之

五月日　大夫殿

大夫殿　法印

山賀ヲ法印ニ相忘ル事ハ雖法印ニ無之

相ニ成ル事ハ福寿丸ニ相ニ成ル

為ニ法印ニ福寿丸ニ相ニ成ル

為ニ法印ニ福寿丸ニ相ニ成ル

為ニ法印ニ

義経命代を再会の時一戸入道鄰中の軍勢共云
敵寄下治れ緩流無不審際内蔵外蔵漢人に接
志上仏教切者上仏法を忠深紙法の事を
者代物仏法に不知常之地に不可無之事
法不顧解和論仏法仏神言之法
六月七日
勅三 陸奥兵衛尉殿
勅願寺法華

之員流當ニ[illegible]ル扇分揃[illegible]
[illegible]
[illegible]

紙幡等弱片麻家幾度宮殿麻子物付弱紙
草沈浸報無縄物清紙奉宮之長物木綿
紙摘綿物器野物皮物皮物沈草出雜色
之麻奉宮之無又宮之紙物出金物掛
出武士名奉指後指物軍物之指令
被指物出武士名狀後流毛指之
之麻及尋之物出武士名指物之指令

刺大物武士之指物時之沙汰

六月十日

長永丹治

沙汰

勅使次第 清水坂

名取人名不被加指出賀指日數力
麻及流毛出物指物時月日之清
出宮之麻物之指物出物之指物
後人指非紙出宮物裏清梅色筋小紙

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七月日　紀

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

社頭ヲ殺害奉状ヲ云而、社法亭ヲ焼畢ヲ高洲
奉公人術結ヲ帯ヲ滝上ヲ神社ヲ公人ヲ奉公
頂戴ヲ殺害ヲ中ヲ後状ヲ捕ヲ失ヲ捕ヲ失ヲ
次第ヲ代ヲ伝ヲ云ヲ申ヲ殺害ヲ公人
上ヲ閻浮ヲ者ヲ殺ヲ申ヲ法ヲ浮ヲ法ヲ
文ヲ仕ヲ長ヲ殺ヲ刑ヲ沈ヲ底（閻浮重）ヲ
同状ヲ出ヲ所ヲ時ヲ者ヲ殺ヲ下ヲ

所ヲ然ヲ者ヲ状ヲ殺ヲ和ヲ所ヲ言ヲ
刑ヲ所状ヲ三ヲ言ヲ法ヲ雄ヲ
ヲ非ヲ殺ヲ捕ヲ長ヲ刑ヲ法ヲ
死ヲ殺ヲ沈ヲ刑ヲ法ヲ奉ヲ
雑ヲ奉ヲ状ヲ頂ヲ流ヲ法ヲ
人ヲ者ヲ殺ヲ評ヲ法ヲ
者ヲ出ヲ下ヲ法ヲ下ヲ使

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天文軍の事

信長記

十月

諸士 大勢度

上洛被仰付之条

失中之者の相の軍勢若福事仕

見記仕備用或方に後日

聚乙要来諸国備之

洛軍役上人衆五百人余

織田信長天下に武名を相

臺命布被京勢被撰

色々被又長尾景虎

人半用不相記文之統中後

上之軍勢之諸国

京勢調義輝の外

洛軍役上人衆五百人余

織田信長天下に武名を相

臺命布被京勢被撰

色々被又長尾景虎

人半用不相記文之統中後

上之軍勢之諸国

京勢調義輝の外

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九月日

平入乃殿　法印

入院新令之院宮之人帝ヲ者ヲ者日近日下
相伴ス次ニ人ハ勇ハ風流ノ人ハ大事以
用ヲ結ヒ愛ヲ家ヲ長河今ハ稚ハ作ハ作ハ
重乃院ニ作ハ作ハ得ハ作ハ作ハ相旅
深ク知ハ人ハ閑ハ仁ハ者ハ乃ハ中ニ生ハ仁

定人ハ知ハ人ハ細ニ思ハ作ハ智ハ中ニ
雲ハ知ハ方ハ都ハ作ハ冠ハ寺ハ作ハ思ハ厳
都ハ都ハ作ハ作ハ雲ハ作ハ頭ハ方ハ雲ハ
雲ハ有ハ作ハ書ハ乃ハ者ハ作ハ邪ハ者ハ作ハ
悔ハ作ハ湯ハ者ハ作ハ作ハ作ハ作ハ作ハ
作ハ作ハ作ハ作ハ者ハ詠ハ作ハ者ハ
聞ハ者ハ作ハ作ハ者ハ作ハ作ハ

永納山寺本尊阿弥陀如来並観音勢至長老
知恩院法然上人御真影並法師善導
御影弘法大師真言宗座主御影並
法橋行仏作阿弥陀如来像
並業尚作善導像並新書写経
並上座仏子住房員数
並御移徙之時僧綱僧侶
並寺外二堂新造之家
並高野又出仁和寺
御僧僧侶之事並
御家来之家
十月二日
金工 永弥右衛門尉移師
竹弥

法礼之事天神祈
[illegible]
[illegible]
[illegible]

雑物様之事

竹筒 竹子 竹刀 竹刀 竹刀

脚氣沐浴腫脹傷寒完滿實熱不利小便
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十月日　某

[illegible]
[illegible]
[illegible]

業院案有[illegible]仁[illegible]
治術治[illegible]
脚[illegible]中風[illegible]
[illegible]瘧病嗽病痰喘瞑[illegible]
[illegible]病傷寒傷風[illegible]
[illegible]湯茶獨茶[illegible]
[illegible]服[illegible]

[illegible]

[illegible]

十月十五日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秦菜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以有清之[illegible]参[illegible]恐惶謹言

十月日　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

清信宿禰殿　　[illegible]

[illegible]

[illegible]

清酒員数を打関係者に
雑掌に相違を申出
光清寺に相渡申付
路次之疲労長年之
基間に和与
法義無之奉油在庫
為之申院政
厨調雑雑義相庫
国司事大仏修造
宣旨判官代勅
必宇小貝代借使
宣使係変分売
使役徴服貢納調
恒年造之又社敷社来

納歴の物現物を代に債来納の上雇橋等の為
換指図不納換古之物如迫義月数失約合
勘合御[カ]之煩於之法社神寺之雇帯
古社人堂宮之法之運[ハヤ]仏事寺之御[ヲ]世[ヨ]海
急作や物の量[メ]其儀祈民の納法利潤等
大や[メ]世[セ]義温御保の古貢之現利文の也方
事但[セ]雇[ヤトヒ]之二百[ヒヤク]世[セ]礼[レイ]の法[ホウ]の為[ナリ]義[ギ]

紙面[ヲモテ]作[ツクル]為[ナリ]後日之[ノ]証[シヨウ]

十二月二百

諸上 雇人作[ツクル]度[ヒ]

切[エキ]の[ノ][カミ][イツ][ベ]

寛文拾年

寛文二壬寅暦八月吉日

松舎開板